

日本臨床検査専門医会

平成 29 年度第一回全国幹事会議事録

平成 29 年 2 月 24 日

# 日本臨床検査専門医会

## 平成 29 年度 第一回全国幹事会議事録

開催日時：平成 29 年 2 月 24 日(金曜日)16 時 40 分～17 時 55 分

開催場所：リゾートピア熱海(2 階 208 号室)

出席者：登 勉 会長, 東條 尚子 副会長, 本田 孝行 副会長

木村 聡, 佐藤 麻子, 土屋 達行, 宮崎 彩子, 米川 修, 三宅 一徳 各常任幹事

五十嵐 雅彦, 久川 聡, 松下 一之, 増田 亜希子, 〆谷 直人, 中村 文彦,

横崎 典哉, 橋口 照人 各全国幹事, 佐守 友博 監事

早 退：古川 泰司 常任幹事

欠席者：盛田 俊介常任幹事, 紀野 修一, 萱場 広之, 浅井 さとみ, 上原 由紀, 日高 洋, 村田 哲也,

和田 隆志, 大澤 春彦, 長井 篤, 柳原 克紀 各全国幹事,

高木 康 監事

事務局：市川 綾子, 松葉 美知代

(敬称略)

定刻, 登勉会長挨拶の後, 議長として登勉会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

### 第 1 号議案 議事録署名人選任について

議長は, 本会の議事録署名人の選出を議場に諮り, 下記の 2 名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人：中村文彦, 横崎典哉 各全国幹事

### 第 2 号議案 平成 28 年度決算報告

三宅 一徳庶務・会計幹事より, 資料に基づいて平成 28 年度決算報告がなされた。収入については, 会費収入は予算額 6,475,000 円のところが決算額 6,190,000 円, 賛助会員については予算編成時点から減り 37 社分, 教育セミナー参加費, 渉外教育, 振興セミナーは参加者が多く, 予算を上回った。入金合計は 11,094,757 円で, 全体額は若干予算を下回った。支出については, 庶務経費はおおむね予算通り。事業経費は, 印刷代・通信代で, Lab CP, JACLAP NEWS 発刊が予定より少なく, 会議費も回数が少なかつたため予算を下回った。補正予算として追加計上したネットワーク開発費を含めると予算上は赤字の予定であったが, 出金合計は 10,694,622 円で, 収支決算としては 400,135 円の黒字であった。前年度繰越金 18,137,984 円, 特別会計定期預金 10,000,000 円を含め次年度繰越金は 28,538,119 円であった。決算書, 帳簿については 1 月 28 日に高木 康監事, 佐守 友博監事の監査を受けたことが報告された。佐守監事より, 平成 28 年度の日本臨床検査専門医会収支報告は監査の結果, 報告書に相違ないことを認めた旨報告があった。

本件について議場に諮ったところ, 満場一致で承認された。なお, 決算および収支報告書については本議事録章末に掲載する。

### 第 3 号議案 名誉会員会費について

登会長より資格審査・会則改定委員会に対し, 現在, 名誉会員に会費免除者と非免除者の両方が混在していることについて検討が依頼され, その結果, 土屋 達行委員長から名誉会員の会費は免除, 有功

会員会費は現状どおり半額との答申がなされた。また、この点に関しては会則には記載せず、申し合わせ事項とするのが適切との審議結果が報告された。これについて議場に諮ったところ、満場一致で承認された。従って、名誉会員の会費は新年度(平成 30 年度)以降免除となる。

#### 第4号議案 平成 29 年度名誉会員・有功会員(追加)について

三宅 一徳庶務・会計幹事より、昨年の第2回総会時に推薦していなかった下記の2名について、それぞれ名誉会員、有功会員として推薦したいとの提案があった。審議の結果、全員異議なく推薦することに決した。

名誉会員： 上平 憲先生          有功会員：吉田カツ江先生

#### 第5号議案 平成 29 年度会長および監事選挙について

谷 直人選挙管理委員会委員長より、平成 29 年度会長および監事選挙については 7 月 10 日(月) 公示開始、7 月 31 日(月) 公示終了、9 月 1 日(金)～9 月 19 日(火) 投票(消印有効)とし、9 月 24 日(日) に開票を行うことが報告された。選挙結果は 9 月 25 日(月)に HP 上に結果を掲載予定である。実施細則を含め本件の審議を議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第6号議案 第 51 回日本臨床検査専門医会総会における講演会

(第 64 回日本臨床検査医学会学術集会—京都—)

登会長より、内容については三役に一任いただき、6月の全国幹事会であらためて提案したい旨発言があり、満場一致で承認された。

#### 第7号議案 第 30 回(平成 32 年度)春季大会について

登会長より、第 30 回春季大会大会長として橋口 照人全国幹事が推薦され、満場一致で承認された。橋口 照人全国幹事より受諾の挨拶をいただいた。

### [報告事項]

#### 1. 各種委員会報告

##### ① 保険点数委員会

古川 泰司委員長より以下の報告があった。昨年 9 月、11 月に臨床検査医学会の臨床検査点数委員会と合同で委員会を開催し、要望項目の選別を行い、専門医会から 22 件の第一次提案書を提出した。2 月 23 日に内保連から医療技術評価提案書の公開があり、各委員に送り、内保連の提出期限 3 月 31 日に合わせ提案書を作成し、提出する予定である。日本臨床検査振興協議会からの依頼によるコスト調査(9 項目)には合計 41 施設の参加があった。2 月末集計完了予定。平成 30 年度の診療報酬改定に向けて調査集計結果をもとにまとめていく予定。

##### ② 情報・出版委員会

盛田俊介委員長に代わり三宅一徳庶務・会計幹事より以下の報告があった。LabCP (担当:信岡 祐彦委員, 清水 力委員):34 巻 1号:入稿待ち, 34 巻 2 号:執筆者へ依頼済。投稿については掲載前の査読責任担当者に清水 力委員が就任された。LabCP で扱う論文のカテゴリーが不明確であったことより、

投稿規程の一部を見直し中。近日中に規程(案)を委員内で持ち回り審議し、その後改定手続きを行う予定。

JACLaP NEWS:(担当:増田 亜希子委員):昨年は3回の発行であったが、年4回の発行を目標。編集担当に五十嵐 岳委員(聖マリアンナ医科大学)が、副に出居 真由美委員(順天堂大学)が就任した。内容に関してはLabCPとの棲み分けを図るべく「会員の声」のほかに新たな企画を委員内で検討し、「検査部・講座紹介」「研究紹介」がその候補となっている。

月刊「ラボ」(衛生検査所協会の協会誌)「専門医が教える検査値異常の判断法」企画(担当:福地 邦彦委員):平成29年3月から平成31年3月までのテーマ、執筆担当者の予定は決定済。

JACLaP WIRE:(担当:盛田 俊介委員長):No.174からNo.187まで発行。「新専門医制度に関わる臨時増刊号(177, 180, 182)を3号追加発行。「新規保険収載項目」に関する原稿掲載については、臨薬協を介して販売メーカーが文責となり入稿。入稿原稿は矢富裕先生の監修を受けた後、発行手続きを取る。

### ③ 教育研修委員会

米川 修委員長より以下の報告があった。春季大会時の生涯教育講演会はさきほど終了した。本年度の教育セミナーは5月21日に古川 泰司常任幹事のご協力により帝京大学霞ヶ関キャンパスで開催予定。部屋の関係上参加者を40名に限る(今年受検者と、受験資格のある方優先)昨年同様実習はなく、DVD配布を行う。講師は昨年同様の方々に協力いただく予定。また、昨年度合格者3名に合格体験談をお願いする。

また、登 勉会長からの依頼で、医学教育の国際化にともなった教育推進、という観点から、日本臨床検査医学会教育研修委員会本田 孝行委員長と米川 修委員長の連名で「医学部における臨床検査医学教育の現状調査」を行う予定である。内容は教官数、講義時間など、それをもとに改善の方向に進めていく。

登 勉会長より、昨年の総会講演会でも触れたが、米国で臨床検査医学教育の現状という論文が話題になっている。日本でも現状をしっかりと把握したうえでどのような提案をしていくのか、考えていきたい。アンケート調査について、米川 修先生、本田 孝行先生にお願いしている。2023年、日本で国際医学教育認証制度がスタートする、そこに合わせて臨床検査医学教育についても今年度、3年後と経過をみていき、世界に比べてどのような現状になっているか等文科省や関係機関にアピールしていきたい、ぜひご協力をお願いしたい、との発言があった。

### ④ 資格審査・会則改定委員会

土屋 達行委員長より、以下の報告があった。今年1月からの現在までの入会者は5名で委員会の持ち回り審議で承認済み、退会者はなし。登 勉会長より検討依頼のあった名誉会員会費については第3号議案として審議の通りである。

### ⑤ 渉外委員会

東條 尚子委員長より、今年度の振興セミナーは、7月21日に東京ガーデンパレスで開催予定であることが報告された。今年は診療報酬改定年ではないが、臨床検査の保険適用に関する問題点を紹介する予定であり、3名の先生方に内諾をいただいている。専門医認定講習申請が3ヶ月前のため、3月中に詳細を決定予定である。

## ⑥ 広報委員会

木村 聡委員長より、以下の報告があった。4月から五十嵐岳委員を中心に「レジデントノート」誌への連載を予定しており、現在2年目分の原稿を集めている。また、「広報委員会のWebページ」を作成中で本会のホームページにリンク予定である。専門医認定試験情報やキャリア転向・復職予定の女性医師向けなどのコンテンツを計画している。デモ版を全国幹事に確認いただき、公開することを予定している。加えて広報材料として、臨床検査振興協議会作成の「りんしょう犬さん」のパンチング大・小を作成して販売し、検査室の前や、教授室の前など学生の目につくところに置くとよいのでは、と考えている。

また、増田 亜希子全国幹事より、ハンズオンセミナーの開催について以下の報告があった。日本臨床検査医学会ワークライフバランス委員会(田部陽子委員長)とともに新しい形のセミナーとして企画した。研修医はハンズオンセミナーであれば比較的人が集まりやすい。本年度は、東大で開催するハンズオンセミナーに、講義、臨床検査専門医のキャリアの説明を加え半日程度のセミナーを提案した。今回は東大の検査技師の方に協力をいただく予定、8月の最後の日曜日あたりで日程・内容については調整中。

佐守 友博監事より、りんしょう犬さんのクリアファイル・シールは臨床検査振興協議会に申し込みれば広報材料として利用可能であることが紹介された。また、ハンズオンセミナーについて、臨床検査専門医会はどのように関わるのか質問があり、木村 聡委員長より共催であることを明確にしていきたいとの発言があった。

## ⑦ ネットワーク運営委員会

宮崎 彩子委員長より、臨床検査専門医会ネットワークシステムの現状について以下の報告があった。ハード面では、1)Q&A に質問が出た時にお知らせメールが来ない会員がいる、2)同じ質問や回答が重複して投稿される等の問題がある。1)については八木書店と業者間で確認してもらう、2)については投稿者のネット環境により投稿完了の表示が出るまでに時間がかかることがあるのが原因であり、その点を会員に周知徹底をはかることで解決していきたい。ソフト面では、Q&A があまり活用されていない、ログインできていない会員がいる、web の管理ができていない等の問題がある。

新年度は、会員への周知のために、ログインパスワードのお知らせを年会費の請求時に再度郵送で会員に送付する。また、Q&A の活性化のために若手の会のメーリングリストに過去に出た質問を編集して運営委員会が Q に挙げる、分野別の分野に専門医受験に関する項目を追加する、Q&A 活性化用の質問を掲載する、JACLaP NEWS への掲載などを検討していきたい。また、役立つ Q&A ページの充実、専門医資格申請・更新のための機能の充実、会員名簿機能の充実、企業会員ためのコンテンツ作成、各分野リーダーの役割の周知等を目指していきたい。WEB 管理者としては当面、自身(宮崎委員長)と事務局で担当していきたい。

登 勉会長より、あせらず軌道にのせていただきたいとの発言があった。また、会員からのアクセス数についても確認していただきたいとの要望があった。

## 2. 「全国検査と健康展」報告

佐藤 麻子担当常任幹事より、以下の報告があった。昨年は20会場延べ40人の先生方にご協力いただいた。実施後アンケートには、検査の項目が事前のお知らせと違っていた、医師免許の提出の問題、振興協議会が協賛していることが伝わらない、等の問題点の指摘があり、これらの点は技師会の方とも話し合って充実させていきたい。また、2016 年から検査と健康展への参加が、専門医の更新単位(学術業績・診療以外の活動実績1単位)として認定された。さらに多くの先生方に協力いただきたい。

### 3. 第 64 回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウム

本田 孝行副会長より、共催シンポジウムでは「10 年後の検査室」、というテーマで、IoT が支配する検査室、10 年後の遺伝子検査、生理検査、検査室のコーディネイト等を講演してもらう予定である旨報告があった。

### 4. 第 28 回(平成 30 年度)春季大会

本田 孝行副会長(大会長)より、第 28 回春季大会は 2018 年 5 月 11 日(金)～12(土)、信州大学外来棟の4階大会議室、懇親会は5階レストラン「ソレイユ」で開催予定であることが報告された。テーマはAIについて、また、海外に向けての臨床検査医学・海外特にアジアに開かれた学会にしていくには、というふたつを考えているとの報告があった。

### 5. 第 29 回(平成 31 年度)春季大会

横崎 典哉全国幹事(大会長)より、第 29 回春季大会は 2019 年 5 月 10 日～11 日頃、会場は広島駅の北口の広島県医師会館あたりを予定しており、内容は検討中であるとの報告がなされた。

### 6. 平成 29 年度行事予定

三宅 一徳庶務・会計幹事より、平成 29 年度には以下の行事を予定していることが報告された。

5 月 21 日(日):第 86 回教育セミナー

6 月 17 日(土):第 2 回全国幹事会(14:00～16:00)

7 月 21 日(金):第 34 回臨床検査振興セミナー(14:00～17:00)

9 月 30 日(土):第 2 回常任幹事会( 15:00～)

11 月 11 日(土):“臨床検査の日”日本臨床衛生検査技師会:全国検査と健康展”共催

11 月 16 日(木)～11 月 19 日(日)第 64 回日本臨床検査医学会学術集会

第 3 回全国幹事会、第 51 回日本臨床検査専門医会総会・講演会

12 月 9 日(土):第 3 回常任幹事会(新旧合同常任幹事会、15:00～)

### 7. その他

春季大会大会長 〆谷 直人 全国委員より挨拶がなされた。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 29 年 6 月 28 日

中村 文彦

平成 29 年 7 月 3 日

横崎 典哉

平成28年度 決算報告

平成28年	項目	予算額	決算額	予算と決算の差		
収入	会費	会員会費	6,475,000	6,190,000	-285,000	
		賛助会員会費・寄付金	4,000,000	3,700,000	-300,000	
		小計	10,475,000	9,890,000	-585,000	
	その他	広告収入	200,000	420,430	220,430	
		教育セミナー参加費	350,000	470,000	120,000	
		生涯教育講演会参加費	100,000	172,000	72,000	
		振興セミナー参加費	100,000	140,000	40,000	
		利息	5,000	2,327	-2,673	
		小計	755,000	1,204,757	449,757	
	入金合計		11,230,000	11,094,757	-135,243	
支出	庶務経費	事務所維持費	1,700,000	1,723,582	23,582	
		人件費	1,500,000	1,487,380	-12,620	
		設備費	150,000	1,430	-148,570	
		電話・FAX使用料	60,000	55,751	-4,249	
		通信費(事務局)	170,000	150,051	-19,949	
		事務局雑費	150,000	142,615	-7,385	
		小計	3,730,000	3,560,809	-169,191	
	事業経費	印刷代	2,000,000	1,568,755	-431,245	
		要覧印刷代	550,000	551,880	1,880	
		通信費	800,000	552,582	-247,418	
		春季大会補助金	500,000	500,000	0	
		臨床検査振興セミナー費	950,000	798,253	-151,747	
		教育セミナー費	750,000	574,050	-175,950	
		会議費	1,000,000	799,193	-200,807	
		交通費	70,000	96,510	26,510	
		宿泊費	20,000	32,000	12,000	
		原稿料	100,000	0	-100,000	
		専門医ネットワーク開発費	864,000	858,060	-5,940	
		HP維持費(広報HP含む)	170,000	170,838	838	
		JCCLS会費	50,000	50,000	0	
		WASPALM会費	60,000	51,692	-8,308	
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0	
		内保連	200,000	200,000	0	
		ISO/TC212第22回総会協賛金	0	30,000	30,000	
		小計	8,384,000	7,133,813	-1,250,187	
		出金合計		12,114,000	10,694,622	-1,419,378
		収支決算			400,135	
		前年度繰越金			18,137,984	
次年度繰越金			18,538,119			

日本臨床検査専門医会 平成28年度決算報告書  
(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

平成28年12月31日現在

【一般会計】

収入 詳細は会計帳簿記載	入金	11,094,757	29,232,741
	前年度繰越金	18,137,984	
支出 詳細は会計帳簿記載	庶務経費	3,560,809	10,694,622
	事業経費	7,133,813	
収支および次年度繰越金			18,538,119

次年度繰越金	ゆうちょ銀行振替口座 残高証明書 別紙	17,985,910	18,538,119
	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	537,453	
	現金	14,756	

【特別会計】

定期預金	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	10,000,000
------	-------------------------	------------

【残高合計】

次年度繰越金＋定期預金	28,538,119
-------------	------------

平成29年1月26日

庶務・会計幹事

三宅一徳 

平成28年度日本臨床検査専門医会収支報告は、監査の結果、上記に相違ないことを認めます。

平成29年1月28日

監事

高木康 

平成29年1月28日

監事

佐守友博 